

即時公開

広報担当:

Michael Ingalls (マイケル・インガルス)
Natron Communications for Sila Nanotechnologies
+1 (415) 888-3314
michael@natroncomm.com

事業開発担当:

Craig Weich (クレイグ・ヴァイス)
Sila Nanotechnologies
craig@silanano.com

Sila Nano が次世代リチウムイオン電池の新たな材科技術を発表

次世代電気自動車の生産に向け BMW グループと業務提携へ

2018年3月15日(木)

カリフォルニア州アラメダ地区

[Sila Nanotechnologies](#) (シルラ・ナノテクノロジー以下 Sila Nano) は次世代電池の新たな基準となる製造材料開発に向けて BMW グループとの業務提携を発表しました。

BMW グループはこれまでも優れた社内研究開発と新しい電気自動車モデルの増数など様々なイノベーションにより電気自動車への期待を高めてきました。その上で最先端の技術を活用し、長距離に移動できる電動自動車に対する一歩先の消費者ニーズに応えています。

充電可能なリチウムイオン電池が将来の自動車業界の目標に貢献するにはさらなる開発が必要です。負極(アノード)に炭素系素材、正極(カソード)にリチウム遷移金属複合酸化物を使用する既存の化学技術はすでに最適化され、限界をむかえています。高い安全性を確保しつつ、さらなるパフォーマンス向上を図るには優れたコストパフォーマンスで従来のセル製造プロセスと連帯しながらも格納率の向上が期待できる次世代の材料化学に移行することが必要です。

Sila Nano は次世代電池材料の開発と商品化に力を注いできました。その第一となったのが、従来の負極(アノード)に用いられていた炭素系素材をシリコン主要素材に置き換えることでサイクル寿命を長くし、膨張を抑え、高エネルギー密度を実現した次世代電池セルです。Sila Nano の材料技術は、既存する電池製造プロセスにうまく対応するため、低コストでの大量生産を可能にします。

BMW グループは同社と業務提携を長期にわたって組むことで、自動車市場向けのシリコン負極（アノード）材料の開発に協力し、Sila Nano の画期的な技術を用いることで高性能な電気自動車のパフォーマンスと産業化を目指してきました。

Sila Nano 代表取締役のジーン・バーディチェフスキー氏によると、「Sila が提供する次世代電池材料は、既存する電池製造プロセスを維持しながらもエネルギー貯蔵の向上を確立するため、低コストでの大量生産、増産が可能です。」

さらに、「これらイノベーションは 2020 年初頭にも新たな電気自動車のスタンダードにつながるでしょう」とバーディチェフスキー氏は話します。

Sila Nano はサンフランシスコ・ベイエリアの本社を拠点に、ヨーロッパやアジアへと拡大を続けていて、自動車業界のほか、様々な消費者市場にてお客様とパートナーをサポートしています。

Sila Nanotechnologies について

Sila Nano は新たな電池のスタンダードとなる電池材料を開発しています。次世代の材料化学を適用し電池の軽量化、安全性強化、そしてエネルギー密度の向上を実現することで電気自動車、高性能携帯電子機器類やウェアブルの開発普及に役立てるとともに、再生可能電源の普及拡大に貢献しています。2011 年に設立された同社は現在、カリフォルニア州アラメダに本社を構え、大株主には Bessemer Venture Partners、Matrix Partners、Sutter Hill Venture などが挙げられます。開発や事業に関する詳細は www.silanano.com をご覧ください。